

# MIYOSHI オリンピアド推進事業

—No.42 三芳町—

## 【事業の目的】

1年延期となった2020東京オリンピック・パラリンピックまでの期間を、昨年度に引き続き、スポーツ、文化、教育などを融合させ、新たな生き方の創造を目指す「MIYOSHI オリンピアド事業」とし、幅広い分野で地域が世界とつながる事業を行うことによって、未来へのレガシー創出を目指します。

## 【事業の内容】

町内にある女子柔道強豪校の淑徳大学と連携して、オランダ女子柔道チームのホストタウンとしてオリンピックの事前キャンプを実施するとともに、住民との交流等を行います。また、地元企業の大崎電気工業株式会社男子ハンドボール部から日本代表に多くの所属選手が選ばれていることから、壮行会を開くなど町を挙げて応援します。パラリンピックでは共生社会ホストタウンとしてマレーシアのパラリンピック選手団の事前キャンプの受入れ及び交流事業を実施します。オリンピック・パラリンピックとも、事前キャンプでは「2020三芳町ホストタウン交流推進実行委員会」や、有志や団体・企業による「ホストタウン応援サポーター」を中心に関係団体と連携して国際理解を深める場を創り出します。

## 【事業年度】

平成30年度～令和3年度 オリンピック・パラリンピック終了後の交流も見据えています。

## 【予算額(千円)】

19,361千円

## 【財源】

一般財源(町)

## 【事業実施に至った背景・経緯】

東京でのオリンピック・パラリンピック開催は、日本が世界と密接につながるチャンスととらえています。

町内にある淑徳大学が女子柔道の強豪校であり、オランダ女子柔道チームとのつながりがあるということをきっかけに、事前キャンプの誘致を行い、平成30年4月27日に県内8例目となるホストタウンとして登録され、平成30年12月には事前キャンプを実施しました。

平成31年1月にオランダ柔道連盟と、8月には淑徳大学を含めた3者での事前キャンプになどについての覚書を交わしました。

また、三芳町は30年以上にわたりマレーシアと文化交流を続けており、平成29年にはペタリングジャヤ市との姉妹都市連携を締結。令和2年1月にマレーシアパラリンピック委員会と交流事業の実施を含んだトレーニングキャンプにかかる覚書を結んだことから、同年3月マレーシアを相手国とした共生社会ホストタウンに登録されました。

## 【事業のPRポイント】

個人や団体・企業で構成される「ホストタウン応援サポーター」は、交流イベントの参加や補助、通訳、PR、独自企画など参加可能な活動を選んでいただき、町ぐるみでホストタウン事業を盛り上げていただける方々により構成されています。団体・企業も自社で可能な取組を行っていただいています。

## 【事業実績・成果・今後の展開】

各学期に2回 MIYOSHI オリンピアド給食と銘打って伝統料理の提供を実施したほか、オランダ女子柔道チームの事前キャンプおよび住民交流事業が行われています。グローバル社会を見据え、今後も様々な国際的文化交流・発信を視野に入れていきます。

## 【参考資料】

MIYOSHI オリンピアド特設ページ (町 HP)

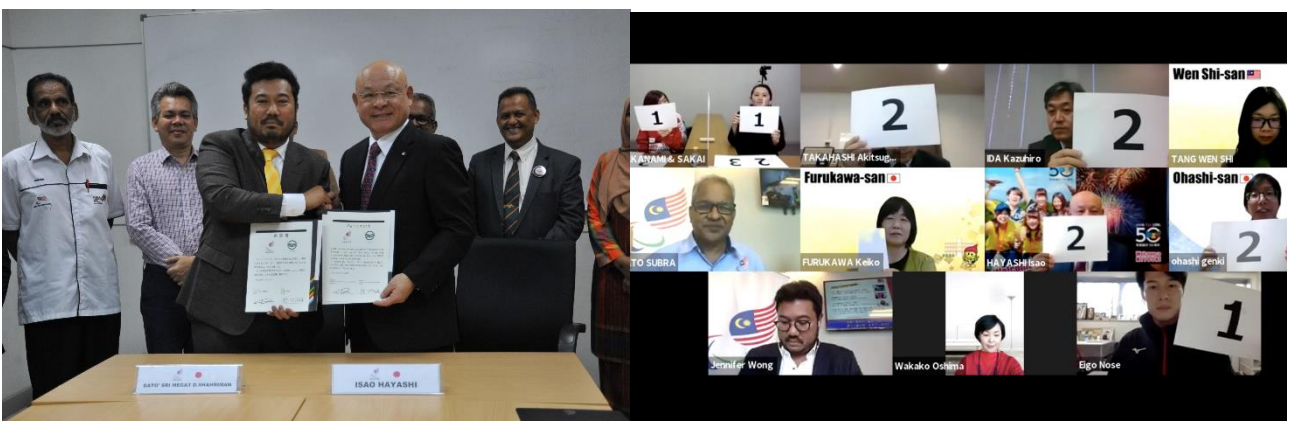
<https://www.town.saitama-miyoshi.lg.jp/town/keikaku/2020oripara.html>



(H30.12 オランダ女子柔道チームウエルカムパーティ)



(H30.12 オランダ女子柔道チーム公開練習・MIYOSHI オリンピアド給食)



(R2.1 マレーシアパラ委員会 MOU 締結・R3.2 オンライン交流会)

〔 連絡先 〕 MIYOSHI オリンピアド推進課 文化・スポーツ担当

049-258-0019 (内線 434)